

## 首都直下地震等、大規模災害への対策

# 避難所や店舗への緊急配送として燃料 400Kℓを備蓄 5/8 国内小売業初の燃料備蓄基地が完成

～同日、イトーヨーカ堂とセブン-イレブン・ジャパンが杉戸町と災害協定を締結～

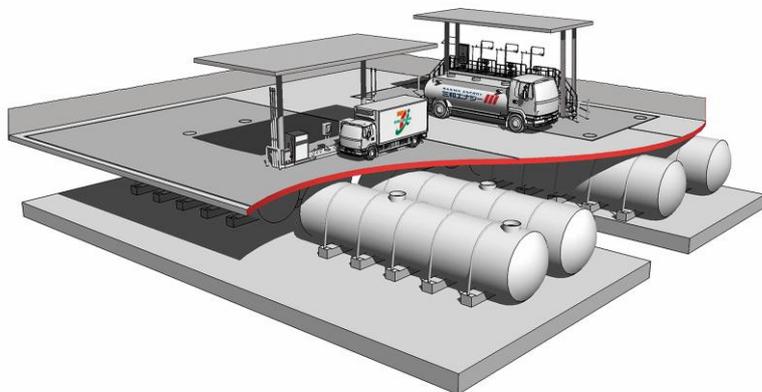
株式会社セブン&アイ・ホールディングス(代表取締役会長 最高経営責任者:鈴木 敏文)は、大規模災害対策の一環として、国内小売業で初となる燃料備蓄基地の建設を進めてまいりましたが、5月8日(木)、「杉戸燃料備蓄基地」として完成いたしました。

この基地は、燃料の販売・配送事業を手掛ける三和エナジー株式会社(神奈川県横浜市代表取締役社長:上野 瑞穂様)との協業により、埼玉県北葛飾郡杉戸町にあるイトーヨーカ堂の物流センター敷地内に昨年5月末から着工し、災害発生時の緊急物資搬送用として燃料400キロリットルを常時備蓄するものです。

本基地の完成により、首都直下地震等の大規模災害発生時において、被災地域をはじめとする避難所やセブン&アイ各店舗へ緊急物資・商品をより迅速・確実に配送することが出来るようになります。

また、本基地の完成に併せて、同日、株式会社イトーヨーカ堂(東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者<COO> 亀井 淳)ならびに株式会社セブン-イレブン・ジャパン(同、代表取締役社長 最高執行責任者<COO>井阪 隆一)は、杉戸町(町長:古谷 松雄様)と「災害時における生活物資の供給協力に関する協定」を締結いたします。

セブン&アイは、コンビニエンスストア、スーパーストア、百貨店等、多業態を擁する他に類を見ない小売グループとして、災害発生時における社会インフラとしての機能をより一層強化すべく、今後も大規模災害への対策に注力してまいります。



「杉戸燃料備蓄基地」全体イメージ



「杉戸燃料備蓄基地」外観

## 記

### < 燃料備蓄基地の概要 >

#### ◆正式名称

- セブン&アイ・ホールディングス 杉戸燃料備蓄基地

#### ◆建設地・敷地面積 等

- 番 地：埼玉県 北葛飾郡杉戸町 大字本郷東下 682-6  
〔イトーヨーカ堂の物流センター（杉戸センター）敷地内〕
- 敷地面積：約 650 坪

#### ◆目的・運用

- 平時においては、燃料の販売・配送事業を手掛ける三和エナジー株式会社（神奈川県横浜市）が営業拠点として利用（燃料劣化防止にもつながります）  
〔セブン&アイと三和エナジーが土地・本基地に関する契約・協定書を締結〕
- 災害発生時は、備蓄燃料を避難所への緊急物資配送や、セブン&アイ各店舗への商品配送のために利用

#### ◆備蓄燃料

- 400kl〔軽油 350kl（緊急配送として利用）、ガソリン 50kl（予備）〕  
\* 燃料備蓄基地タンクの総容量：800kl  
〔ご参考：軽油 350kl＝災害発生時、首都圏（1都3県）のセブン-イレブン、イトーヨーカドー、ヨークマートの全店（約 5,400 店舗）最大で約 10 日間分の緊急配送をカバーできる量〕

#### ◆建設コスト

- 約 4 億円（セブン&アイ・ホールディングス負担）

### < 災害協定の概要 >

#### ◆協定名称

- 「災害時における生活物資の供給協力に関する協定」  
（杉戸町とイトーヨーカ堂が締結、杉戸町とセブン-イレブン・ジャパンが締結）

#### ◆協定締結日

- 2014 年 5 月 8 日（木）

#### ◆協定内容

- 大規模災害時に町民生活の安定を図るため、杉戸町からの需要に対して調達可能な日用品等の生活必需品を提供する。

（ご参考）同日、杉戸町と三和エナジー株式会社では「災害時における燃料の供給に関する協定」を締結。

以上

東日本大震災の被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。